



アザーンとクルバーン、イスラームのふたつのしょうちよう

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

こんしゅうの きんようれいはい の ホトバ では、イスラームの ふたつの しょうちよう である アザーンと クルバーンの じゅうようせいについて みなおして みましょう。

アザーンとは、じんるいにたいしてアッラーのしもべになるようにというよげんしゃてきなよびかけです。それはちからづよいタウヒードのこえです。いちにちにごかい、ムアッズインはアッラーのほかにかみはないこと、よげんしゃムハンマド・ムスタファがさいごのよげんしゃであることを、ひとびとにおもいださせるのです。アザーンをとおしてわたしたちをしゅのじひとゆるしにまねきます。アザーンをとおしてへいおんとすくい、あんぜんとへいわにまねきます。アザーンはワフダト、すなわちウンマのとういつせいのせんげんでもあります。わたしたちのじゅうのせんげんであり、どくりつせいのしょうちようです。

「かくしんをもってそのようにのべるものは、らくえんにはいるだろう」¹ とハディースにあらわされているとおり、アザーンはらくえんのきつぼうなのです。

しんあいなる ムスリム の みなさま！

イスラームのもうひとつのシンボルはクルバーンです。クルバーンとはかみとのちかしさ、しゅにちかづこうとするわたしたちのどりよく、とくしんをえたいというねがい、かみのおんちようをうけようとするわたしたちのどりよくをさしています。クルバーンとはふくじゅうです。アッラー（スプハーナワタラー）と、そのめいれいにたいするじゅうじゅんをいみします。クルバーンとはちゅうじつであることをいみし、ぜんこのアッラーのごしようにんをなによりもたいせつにすることをいみします。クルバーンとは、しゅくふくのしんのしよゆうしゃのことをつねにいしきし、おもいおこすことをいみします。クルバーンとはわかちあいであり、こまっているひとのいえ、こころ、しよくたくに、こうふくとおもいやりをもたらすことをいみします。クルバーンとはどうほうあいのことであり、こころとこころのあいだに、わかちあいとれんたいかんのはしをかけることです。

しんあいなる しんこうしゃ の みなさま！

こんしゅうの きんようれいはい の ホトバ の おわりに、たいせつなことをおつたえたいとおもいます。クルバーンというすうはいこういは、じぶんじしんが、あるいはだいのひとが、すんでいるちいきでおこなうことがふかけつです。クルバーンのじっせんにひつようなせつびなどがないちいきにすんでいるひとや、さだめられているクルバーンにくわえて、こまっているひとたちにもクルバーンのにくをうけとってもらいたいひとは、だいをいらいすることもできます。トルコきょうわこくしゅうむちようざいだんは、ほかのじぜんだんたいとどうように、だいでのクルバーンのじっせんをおこないたいというきょうだい、しまいのためにかつどうしています。れいねんどおり、こしも「クルバーンをわかちあおう、きょうだいしまいとてをとりあおう」というよびかけをとおして、せかいじゅうのこまっているひとびと、とくにカフラマンマラシュだじしんのひがいしゃとなったきょうだい、しまいに、みなさんからたくされたクルバーンをとどけます。

ひようはとうきょうジャーミイのぎんこうこうざにおふりこみいただくか、しよくいんにちよくせつおてわたしもかのうです。ひきかえにりょうしゅうしょをはっこういたします。みなさんのぜんこうをアッラーがうけいれてくださいますように。

¹ Ibn Hanbal, II, 352